

知のフリマの楽しみ方

ManasLink ONLINE 編集長 野口隆史

シンポジウム開催前のポジションペーパーより

イベントに参加するときにあなたは、イベントそのものを楽しむタイプですか、それとも会場の小脇のスペースで相手を見つけて談話するのを楽しむタイプですか？知のフリマは後者の人のために用意されたトラックです。

イベントに参加するモチベーションにはいろいろあると思います。

- A：イベントのテーマに興味がある
- B：イベントの登壇者に興味がある
- C：イベントという場に興味がある
- D：イベントでの出会いに興味がある

知のフリマが意図しているのは、C と D です。A や B を目的にイベントに来てみて、ちょっと一息入れようとお越しいただくのも正しい知のフリマの楽しみ方です。お菓子コーナーが用意される予定です。

もっと積極的に知のフリマを楽しみたい場合は、自分のテーマを持ってきていただくのがおすすめです。といってもとくに事前の準備はいりません。その場で話したいと思ったことがそのままテーマになります。

知のフリマはタイムボックスの最初にエレベータピッチをして、その場で参加者を募って行う即興の自発的な知的交流の場です。ほかのトラックで触発されたテーマについて話を深めてもよし、自分の身の回りの課題を共有してもよし、ひとまず誰かの知のフリマに参加して様子を見るのもよし。

イベントの会場の外で起きる自然発生的な交流の場をもっと触発させるのが知のフリマです。参加したい人が一人でもいればそれがあなたの知のフリマになります。イベントに参加したときの立ち話が面白いと思ったことのある人、ワイガヤが好きな人、いいお話を聞き過ぎて一息入れたい人、どなたでも歓迎です。気が向いたらそこから出て行ってほかのセッションに参加していくのも自由です。

今回の知のフリマでは、工学院大学の学生さんのポスターセッションを併設しています。熱意あふれる研究の一端に触れることができるのも魅力のひとつです。

多くの皆さまのご参加、お立ち寄りをお待ちしています！

